

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	所沢市健康づくり市民会議
開 催 日 時	平成26年1月27日(月) 午後1時30分から午後3時
開 催 場 所	所沢市保健センター 301会議室
出席者の氏名	藤本正人(市長)・溝井久男(市民部長)・小笠原彰(市民医療センター事務部長)・本橋千恵美(狭山保健所長代理)・柳内仁(医師会長)・駒崎敏郎(医師会副会長)・山口直彦(歯科医師会副会長)・福富朋子(薬剤師会理事)・藤田晃(社会福祉協議会事務局長)・海野一興(民生委員・児童委員連合会理事)・浦野きよ子(母子愛育会長)・岡田弥生(食生活改善推進員協議会長)・青木壽美江(知識経験者)・椛島秋子(知識経験者)・原紘一(知識経験者)・高橋喜美子(知識経験者)・野呂久男(公募)・守谷松次(公募)・増田清子(公募)・工藤淑子(公募)
欠席者の氏名	内藤隆行(教育長)・島田和浩(歯科医師会長)・前橋明(知識経験者)・村岡和子(知識経験者)・田中四郎(公募)
議 題	(1) 第2次健康日本21所沢市計画「健康ところ21」の実施に状況について (2) 所沢市食育推進計画「所沢市食育プラン」の実施状況について (3) その他
会 議 資 料	会議次第・委員名簿・運営要領 第2次健康日本21所沢市計画「健康ところ21」の概要(資料1) 所沢市食育推進計画「所沢市食育プラン」の概要(資料2) 保健センターの概要・健康まつりチラシ(参考資料)
担 当 部 課 名	所沢市保健センター健康管理課 電話2991 1811 (市側出席者) 坂本健康推進部長・平田保健医療担当参事・二上保健センター長 健康管理課/須田課長・伊東副主幹・溝井主任・宮川主任・佐川主事 健康づくり支援課/岸課長・森澤主査・小峯主査・森田主査・近藤主査・中田保健師・菱木栄養士

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>司会（二上センター長）</p>	<p>開会</p> <p>議事に入る前に事務局より本会議に関する確認事項 2 点の説明がなされ、次のように承認された。</p> <p>会議の公開について。「所沢市情報公開条例」第 2 5 条に定められていることを説明し、会議を公開とする。</p> <p>会議録の作成方法等について。「所沢市会議録作成要領」に基づいて会議録を作成するために、会議録の記載方法、発言者の氏名の記載方法及び会議録の処理について次のとおり処理するものとする。</p> <p>会議の記録方法は要約方式とする。</p> <p>委員の発言欄に姓を記載する。</p> <p>会議録の処理については名簿の順番で確認し確定する。</p> <p>（今会議の署名確認者は、山口委員にお願いすることになった。）</p>
<p>藤本市長</p>	<p>挨拶</p> <p>新任の委員、事務局の自己紹介を行った。</p>
<p>司会（二上センター長）</p>	<p>本日の配付資料について確認が行われ、その後、「所沢市健康づくり市民会議運営要領」第 2 条第 2 項に基づき市長が議長となり会議を進行した。</p> <p>傍聴者なし。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>議題 1、第 2 次健康日本 2 1 所沢市計画の実施状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>中田保健師</p>	<p>資料 1 に基づき第 2 次健康日本 2 1 所沢市計画「健康ところ 2 1」の概要と平成 2 4 年度の実施状況について説明を行った。</p>

議長	このことについて、医師会、歯科医師会、薬剤師会は関連する取り組みについて、説明をお願いします。
柳内委員	<p>医師会では、健康診断、検診、保健事業を行っています。健康診断は、特定・後期高齢者健診、学校健診、乳幼児健診、産業医による職場健診を行っています。</p> <p>検診については、がん検診事業（集団検診・個別検診）、小学1年生・中学1年生が対象の心電図検査を行っています。心電図検査の対象が毎年2700名程度のところ、80名程度が精密検査の対象となります。</p> <p>保健事業では、小児および高齢者の各種予防接種の円滑な運営に協力しています。</p> <p>また、休日当番医制、在宅当番医制、小児夜間診療などを行っています。</p> <p>さらに、地域医療を支えるために心筋梗塞ネットワーク、脳卒中ネットワーク協議会、認知症ネットワーク、周産期医療協議会、在宅医療推進委員会を設置し医師間の交流だけでなく、介護関連事業者との交流を図ることが可能となっています。</p> <p>つづいて、駒崎委員より健康まつりについて説明をお願いします。</p>
駒崎委員	市の事業として11月の日曜日に市民健康まつりを開催しておりますが、医師会では医療相談を担当しております。相談件数は200件以上に上っています。
山口委員	<p>歯科医師会では、妊産婦歯科検診、乳幼児健診（1歳半、3歳）、2歳児歯科健康教室、成人歯科検診（歯周疾患検診）、成人歯科健康教室、歯周病予防教室、歯と口の健康週間、8020よい歯のコンクールや健康まつりなどの市の事業に協力しております。高齢者支援課の事業である介護予防教室や高齢者大学への講師派遣もしております。</p> <p>また、小・中学校においては学校歯科医を設置し、検診と保健指導を行っています。</p> <p>そして、特筆すべき点として歯科診療所あおぞらで、障害者と在宅の要介護の方を対象に歯科診療を行っています。</p>

	<p>歯科医師会単独の事業としては、障害者の口腔ケアの向上を目的とし、障害者施設の職員を対象に口腔ケアサポーター養成事業を2年間行っております。来年からは高齢者施設も対象に加え、事業を広げる予定であります。</p> <p>また、障害者施設（光の園など）への訪問歯科診療も行っています。</p> <p>さらに、医療と介護の連携を目的として所沢市介護保険サービス事業者連絡協議会を5年間開催し、去年は市長を含む500名の参加をいただきました。</p>
福富委員	<p>薬剤師会は、かかりつけ薬局としての機能向上についての取り組みについて説明いたします。</p> <p>まず、所沢市の薬局の一覧表を作成しました。</p> <p>また、個々の状況や体質について記録をし、かかりつけ薬局として一人一人と継続的に関わられるような体制作りをしています。</p> <p>薬やサプリメントの飲み合わせ、相互作用、重複等について良き相談相手として気軽に声をかけられるような薬局や薬剤師の育成を目指します。</p> <p>そして、健康まつりにもブースを設けています。</p>
議長	<p>これまでの事務局や医師会、歯科医師会、薬剤師会の説明に対して、質問・意見はありますか。</p>
高橋委員	<p>（事務局の説明に対して）シニアの子育て応援講座の参加人数と、その後どのような活動をしているのかを教えてください。</p>
中田保健師	<p>全4回コースで申し込み人数は25名です。参加人数は各回22名から24名となっていて、のべ90名の方に参加いただいています。</p> <p>講座に参加された方はその後、ボランティアとして、BCGの集団接種における初めてのおもちゃ・絵本コーナーや、児童館での自主グループ立ち上げに協力していただいています。</p>

高橋委員	講座に参加された方が自主グループを立ち上げるのではなく、児童館を利用している方が自主グループを立ち上げるのをお手伝いするという形ですか。
中田保健師	おもに、健康づくり支援課と児童館が協議して自主グループを立ち上げた後の、ボランティアとして活動していただく予定です。 なお、シニアの子育て応援講座は、地域のなかで保護者と子どもが孤立しないことを目的としています。 そのため、講座では、現代の親子のおかれた状況や今と昔の子育ての違い、身近にいる親子に気軽に話しかけていただけるようお話をしています。
議長	他に質問・意見はありますか。
青木委員	(事務局に対して)資料1の中年期・高年期の内容は介護予防事業と重なる部分が多いですが、地域包括支援センターや高齢者支援課とはどのように連携を取っているのでしょうか。
中田保健師	たとえば、健康づくり支援課の地区担当保健師と地域包括支援センターの介護予防教室に講師として参加することなどが挙げられます。
議長	他にありますか。 ないようなので、議題2に移りたいと思います。 議題2 所沢市食育推進計画「所沢市食育プラン」の実施状況について事務局より説明をお願いします。
森田栄養士	資料2に基づき所沢市食育推進計画「所沢市食育プラン」の概要と平成24年度の実施状況について説明を行った。
議長	このことについて、食生活改善推進員協議会から関連する取り組みについて説明をお願いいたします。
岡田委員	食生活改善推進員協議会では、「私たちの健康は私たちの手

	<p>で」をスローガンに会員約120名で活動をしております。保健センターで開催されている、生活習慣予防のための料理講習会、リーダー研修会、地区伝達料理講習会、食改育成講座などを通して栄養士の方などから指導していただき、食育を通してボランティア活動をしております。</p> <p>平成25年度のリーダー研修会では具体的に、5月に働き盛りの健康と食事、7月にこどもに喜ばれる食事、9月に高齢者に喜ばれる食事、11月消化吸収に良い食事、1月に貧血予防に良い食事、2月に高血圧予防に良い食事をテーマに講座をしていただきました。</p> <p>11月20日には、「生活習慣を見直してみませんか」と60歳以上の市民対象にメタボ予防教室を開催し、30名程度が参加しました。ほかに、小手指公民館と所沢中央公民館で男性料理教室、5か所で乳製品を利用した料理講習会を開催しました。</p> <p>また、社会福祉協議会の補助により高齢者ヘルスアップ事業を5か所で開催いたしました。</p> <p>さらに福祉施設との交流会（おやつ作り）を5回、5月1日のエコロ祭りには初回から参加しております。</p> <p>そして、柳瀬公民館まつり、小手指公民館まつり、健康まつりにも参加し、健康情報を提供しております。</p> <p>また、富岡小学校、小手指小学校でのうどん作りのアシスタントもいたしました。</p> <p>会員の親睦を兼ねたウォーキングでは、川越城下町散策、研修旅行として富岡製糸工場、原田工場の見学も実施しました。これからも自分や家族の健康、市民の方の健康のために役に立つ活動をしていきたいと思っております。</p>
議長	質問・意見はありますか。
守谷委員	<p>先日、NHKのクローズアップ現代で、70歳以上の5人に1人が栄養失調とのニュースを見ました。私も実際あまり肉を食べないので、アルブミン不足ということです。</p> <p>その番組によると、東京長寿健康センターでは管理栄養士が毎日肉を食べるように指導しているとのこと。</p> <p>中年期には中性脂肪、肉はできるだけ控えるように言われた</p>

<p>森田栄養士</p>	<p>のに、高齢になると積極的にとるように指導され混乱しています。このことについて、どのように解釈すればよいですか。</p> <p>私どもも最近では、介護予防教室などで栄養の講話をする際は低栄養についてお話するようにしています。</p> <p>以前は、高齢者はあまり肉を取らないほうがよいという風潮がありましたが、最近では、肉も魚も野菜もまんべんなく摂取したほうがよいという話をしています。</p>
<p>守谷委員</p>	<p>その番組（NHK クローズアップ現代）で、健康日本21が新たに「たんぱく質と脂質を十分に取るよう」に改定されたとのこと。しかし、魚や大豆などの植物性たんぱくでは、脂質は取れないとのことで、私には脂質とはどのようなものなのか理解できませんでした。脂質とはどのように考えればよいですか。</p>
<p>森田栄養士</p>	<p>脂質とは、サラダオイルなどの動物性の油のことです。取りすぎは高カロリーやコレステロールを上げるなど悪影響を及ぼします。</p> <p>しかし、炒め物で使う程度の油やオリーブオイルでドレッシングをつくるなどの量であれば、過剰にはなりません。</p>
<p>守谷委員</p>	<p>その程度の量で十分ということですね。</p>
<p>森田栄養士</p>	<p>十分だと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>他にどうでしょうか。</p>
<p>野呂委員</p>	<p>「健康ところ21」のほうは知る機会があるが、「所沢市食育プラン」については私自身もあまり活動を知りませんでした。一般市民はどのようにこのような活動を知ることができるのですか。</p>
<p>森田栄養士</p>	<p>おもに広報ところざわを通して、栄養教室などについてお知らせしています。</p>

議長	ちなみに、定員は満員になりますか。
森田栄養士	<p>満員になる教室もあります。たとえば、乳幼児のいる親を対象にしたファミリー食育教室は、いつも募集後すぐ満員になってしまうので、初回の方のみ応募可能にしています。</p> <p>また、64歳以下が対象のところ21栄養教室や、65歳以上が対象で男女別に行う優しい健康食教室の女性の回も満員になることが多いです。</p> <p>さらに、男性料理教室は応募が定員以上になり抽選となりました。</p>
議長	他にありますか。
山口委員	「健康ところ21」と「所沢市食育プラン」の両計画について5年間の目標値を設定し、事業を展開されているとのことですが、評価は毎年しているものではないということですが、中間点である今年度（平成25年度）は達成度を調べているのですか。
中田保健師	<p>どちらの計画も設定している数値目標が、市民の方の声による実態調査が多くなっています。そういった目標値は5年ごとに見直し、計画に反映しております。</p> <p>一方、がん検診における受診率などのように数値的に評価できるものは、毎年目標値に照らし合わせて評価を行っています。</p>
山口委員	平成28年度から第3次の計画を立てるにあたって、今の第2次の計画で達成できなかった部分や達成しにくい部分に予算を多く当てる必要があると思います。しかし、平成27年度が終わらないと評価できないということであれば、次の計画の目標値が立てづらいのではないかと思います。事務局は今後どのように検討されるのですか。
中田保健師	今回の計画は平成27年度に終了ですが、おっしゃる通り、終了してから実態調査をして計画を策定するのでは間に合いません。そのため、平成26年度から実態調査の準備をす

議長	<p>め、平成27年度には実態調査の評価を反映した第3次の計画の策定を進める予定です。</p> <p>他にありますか。</p>
海野委員	<p>高齢者の人口の増加がこれからも進むといわれており、小手指地区では現在約21パーセントが高齢者です。</p> <p>それに伴って、最近一人暮らしの高齢者が急増しており、これからも増加するのではと思われます。</p> <p>このような一人暮らしの高齢者に対して、健康という観点から、保健センターではどのような対策をとっていかようとしているか、地域包括支援センターなどとの連携も含めて考えを聞かせてください。</p>
須田課長	<p>高齢者の一人暮らしの増加という大きな課題があることは、事実でございます。そのため、「健康ところ21」および「所沢市食育プラン」の次の策定の際にその課題を反映して行きたいと考えております。</p>
海野委員	<p>両計画は、幼児期、児童・生徒・学生期、青壮年期、中年期・高年期とライフステージに分けて計画を立てられています。しかし、現代ではいわゆる「高齢」を超えた高齢者もいます。そういった方を高齢者とひとくくりにして同様の対策で済ませるのではなく、行政として新たな対策を講じていただきたい。</p> <p>そういう方の中にも、スポーツクラブなどで元気に活動されている方も多くいます。しかし、「友達がいない」、「健康に自信がない」などの理由で家から出られないという高齢者の話もよく耳にします。そのような方々も市民の一人であるのだから、われわれがそばにいて手を取ってあげる必要があるのではないかと思います。</p>
議長	<p>他にありませんか。</p> <p>ないようなので、議題2については終了とさせていただきます。</p> <p>つづいて、その他について事務局から報告をお願いします。</p>

須田課長	<p>以下の2点について資料に基づき説明を行った。</p> <p>平成25年度市民健康まつりの報告 (参考資料：健康まつりチラシ)</p> <p>所沢市健康づくり市民会議の運営要領の見直し (参考資料：所沢市健康づくり市民会議運営要領)</p> <p>現行の健康づくり市民会議については、平成26年度から着手する「所沢市保健医療計画」の策定・推進体制とも調整を図り、委員構成等も含めた見直しを行ったうえで要領の改正を行いたいと考えておりますのでご了承いただきますようお願いいたします。</p>
議長	<p>質問・意見はありますか。</p>
山口委員	<p>所沢市保健医療計画を新しく策定するとのことですが、何年度から計画を始めて、何年度から施行する予定ですか。</p>
平田参事	<p>平成26～27年度を策定期間とし、平成28年度から平成31年度までの4年間を計画年度とします。所沢市の総合計画から1年遅れて、総合計画を踏まえた形で保健医療計画を策定させていただく予定です。</p>
山口委員	<p>保健と医療の連携についてこの計画に盛り込まれるとのことで間違いはないですか。</p> <p>保健医療計画と健康ところと食育プランのすみ分けが分かりづらいです。この3つの計画は並列しているのか、それとも保健医療計画の枝葉として「健康ところ21」、「所沢市食育プラン」があるのか、どちらですか。</p> <p>また、「健康ところ21」と「所沢市食育プラン」2つのプランは5年で、保健医療計画は4年であるということの整合性について説明をお願いします。</p>
平田参事	<p>まず、計画の年度については3つの計画を平成28年度からの施行に合わせることが可能です。</p> <p>また、保健と医療の連携については、健康づくりから医療、介護、福祉にまたがって保健医療計画を策定できればと思っています。</p>

議長	<p>そして、保健医療計画と「健康ところ21」、「所沢市食育プラン」のすみ分けについては、保健医療計画が2つの計画を包含していく形にしていきたいと思っています。</p> <p>他に何かありますか。なければこれで議事を終了します。以上をもちまして、平成25年度第1回健康づくり市民会議を終了いたします。</p> <p>閉会</p>
----	--